

CAMPUS COMMUNICATION

CELERY

2014
April

4

No.91

中村学園大学・中村学園大学短期大学部 広報誌【セロリ】



入学式 学長訓示

- 学位記授与式
- 深まる地域と大学の関係
- おかげさまで60周年



中村学園大学

栄養科学部



中村学園大学を卒業した姉の影響を受けたこと、そして食に関心があったことから、この学部への進学を決めました。将来の目標は管理栄養士になることなので、そのための勉強を頑張りたいです。また、学園祭実行委員会に入って、多くの友人をつくりたいと思っています。(犬塚さん)

教育学部



将来は中学生の頃から目標としていた小学校の先生になりたいです。ピアノが苦手なので、その点を重点的に頑張りたいと思っています。バスケットボール部への入部を考えているのですが、勉強に、クラブ活動に、何事にも全力で取り組み充実した4年間にしたいです。(東さん)

流通科学部



人と会話するのが好きなので、将来は接客業に就くことを目標にしています。この学部では商学などの勉強など将来に役立つ勉強ができると期待しています。さらには、在学中に海外留学も経験したいので、そのために英語力を身に付けたいとも考えています。(高口さん)

歓迎

新入生コメント

短期大学部544名、大学708名、大学院25名の新入生と25名の編入生が新しいスタートを迎えました。大きな期待を抱いて大学生活を始めた新入生に、これからの抱負を語ってもらいました。



11

教育学部

カンボジアの子どもたちに
学校体育の素晴らしさを届ける
プロジェクト

09

おかげさまで60周年

07

深まる地域と大学の関係

川崎城南区長・甲斐学長対談

05

学位記授与式

卒業生コメント

03

入学式 学長訓示

01

新入生コメント

CONTENTS

私たちが新入生取材しました!

新入生コメントは、本学の「スチューデントジョブ制度」※に登録している在学学生3名がインタビューした内容に基づいています。



山道 奈緒さん (栄養科学部2年生) 高木 良輔さん (流通科学部4年生) 月原 早耶香さん (教育学部2年生)

【山道さんコメント】

2年生になったばかりですが、やる気に満ちた新1年生を見て、自分も頑張ろう!と思いました。新1年生の皆さん入学おめでとうございます!

【高木さんコメント】

新入生の高いモチベーションを肌で感じました。就職活動の真っ最中ですが、私も新1年生に負けずに、努力したいと思います。

【月原さんコメント】

新入生の表情が期待に満ち溢れていて、昨年の自分を思い出し、懐かしくなりました。そして、私も初心を忘れず今年も頑張ろうと思いました。



※「スチューデントジョブ制度」とは、学生が主体となって学内の仕事を行うことで就業体験に基づく人材育成を目的とし、制度化した本学独自の取り組みです。

中村学園大学短期大学部

食物栄養学科



卒業後は栄養士として病院で働きたいと考えているので、多くの卒業生が栄養士として社会で活躍されているこの学科に進学しました。目指すは「人を幸せにできる栄養士」です。そのために、誰よりも充実した2年間になるよう努力したいです。(今泉さん)

キャリア開発学科



パソコンの知識を深めたり、多くの資格を取得したり、社会に出て即戦力となる知識を身に付けたいと思ってこの学科を選びました。勉強以外にも、ボランティア活動なども頑張りたいです。時間を有効に使って、2年間、さまざまなことにチャレンジしたいと考えています。(下坪さん)

幼児保育学科



子どもの頃から憧れていた保育士を目指すため、この学科への進学を決めました。保育実習が充実している学科なので、その点が楽しみです。努力したいと思っています。在学中に多くの友人をつくり、アルバイトも頑張っ、勉強と両立させたいです。(松本さん)

CELERY

中村学園大学・中村学園大学短期大学部
広報誌【セロリ】2014.4 April No.91



15

・学内外のイベント
・学生表彰
・教職員の動き他

EVEN T and NEWS

14

平成26年度入試結果

13

活躍する卒業生

12

わがゼミ案内
教育学部 児童幼児教育学科
針塚進ゼミ

平成26年4月2日

入学式



新入生の皆さんへ — 学長訓示 —

「努力の上に花が咲く」を 心に刻んでください。



学長 甲斐 諭

本日、ここに平成26年度中村学園大学短期大学部、中村学園大学、中村学園大学大学院の合同入学式を挙行するに当り、ご来賓各位をはじめ、新入学生の保護者ご家族の皆様方の多数のご臨席を賜りましたこと、誠にありがとうございました、まずもって厚く御礼を申し上げます。

中村学園大学短期大学部544名、中村学園大学708名、中村学園大学大学院25名、合計1,277名の新入学生を本学に迎え、その前途を祝福することは、私共教職員にとりまして、この上もない喜びでございます。新入学生の中には、中国と韓国からの17名の外国人留学生も参列しています。

新入学生の皆さん、改めてご入学おめでとうございます。また、保護者ご家族の皆様方におかれましては、さぞかし万感の思いで、この入学式をお迎えになられたことと本学教職員を代表しまして心よりお慶びを申し上げます。

新入学生の皆さんは、中村学園で学ぶことを選択されました。皆さん、どうか二日も早く、本学のシステム、それ新たな友人や先生方に慣れ、本学で学ぶことを好きになってください。本学での生活が好きになり、愛校心を持つことがまずは最も大切なことです。

中村学園は、現在の短期大学部の前身である福岡高等栄養学校の昭和29年の創設から数えて今年で60年になります。短期大学部では3万人以上、大学では1万人以上の卒業生を社会に送り出

し、建学の精神に培われた皆さんの先輩方の活躍によって、本学は高い社会的評価を受けています。皆さんも本日から本学の一員となりますので、学園祖中村ハル先生が掲げられた建学の精神を熟知し、日々それを体現してください。

中村ハル先生は、第一に、日本人としての自覚を持ち、「清節の風をたつとび、感恩の情にとみ、労作にいそしむ」人格の形成に努めることが重要と教えられました。清節とは高い志を持ち続けること。感恩とはご両親をはじめ、皆さんを教育する先生方や成長を支援して下さる方への感謝を怠らないこと。労作とは困難に打ち勝ち、努力して物事を達成するということです。この清節、感恩、労作の建学の精神は、皆さんが人間性を磨き、将来、社会が求める専門職業人となるための基本的な心構えを説いたものです。

先生は、第二に、「形は心の現れである」と説かれました。本学で学ぶ学生には「中村らしさ」が求められます。学生らしい服装、言葉遣い、挨拶、マナーにも、本学で学ぶ学生らしさがなければなりません。オリエンテーションなどで「中村スタイル」という小冊子を皆様全員に配布しますので、熟読してください。この基準から大きく外れる学生には注意を与えることになっています。

先生は、第三に、「理論と実際の統合を図り、学問と生活の融合を重んじ教育と研究に努める」ことが重要であると説かれました。本学園で学んだ学問を

実際の生活に生かしながら、合理的で、しかも人間性豊かに成長されることを期待します。

私は皆さんが将来、国の内外で活躍できる人材になって頂きたいと心から願っています。そのためには以下の五点が重要と思います。

まず、第一点は、「学びは基本から、自己責任で」ということです。本学では入学してからの補完教育などで教育支援をしています。もし教科に対する基本的知識が不十分であると思ったら、「基礎教育センター」で補強してください。自学・自習を自らに課すことが重要です。本学は、図書館が充実しており、教職員は親切であり、さらに2年生から大学院生までの多くの先輩がいますので、自ら学ぼうと思えば、充実した日々が送れます。逆に、自ら学ぼうとしなければ、取り残され、留年となり、やがては退学することになります。自学・自習と自己責任、この点が高等学校との決定的な違いですので、肝に銘じておいてください。

第二点は、「教室以外にも学びの場を求めろ」ということです。将来の職業選択に有益な組織訪問、インターンシップ、ボランティア活動、サークル活動などを通じて、キャンパス外でも学んで欲しいと思います。授業が終わったら直ぐに学外のアルバイトに行くのは、学生時代の有効な時間の使い方ではないように思います。いま、皆さんは生涯の中で最も輝いている青春時代の真っ只中にいます。学

業の余暇にはクラスマッチなどで汗を流し、生涯の友人を沢山作ってください。友人こそ生涯の宝物です。

第三点は、コミュニケーション力を高めることの重要性を認識することです。クラスメートや友人、それに教職員と充分な意思疎通ができるように、コミュニケーション力を高めるべきです。スマートフォンだけでコミュニケーションするのではなく、他者と直接会って、笑顔で会話する能力を高める必要があります。そうしなると将来、就職活動する時に、ペーパー試験の一次試験には合格しても二次試験の面接で不合格になってしまいます。夢を実現するには、どうしてもコミュニケーション力の向上が必要です。

第四点は、能動的にアクティブに学ぶことの重要性です。本学の教員は、皆さんが能動的に学修できるようにアクティブラーニングに配慮した授業を心掛けています。2000年以上前に纏められた『論語』の一節に、「博く学んで篤く志し、切に問いて近くを思う。仁、その中に在り。」とあります。すなわち、博く学んで熱心に理想を求め、真剣に質問して身近な問題として考える事ができるなら、思い遣りのあるりっぱな人として成長し、良い成果が得られると指摘しているのです。本学において学問の深奥を極め、それによつて身近な問題を解決できるように努力し、徳の高い立派な人材になるように能動的に、アクティブに学ばれることを希望します。

第五点は、グローバル人材になることで

す。若いうちに外国に出てみると、学問の必要性を痛感し、また日本の良さを再発見できると思います。本学では中国、韓国、アジアの諸大学と提携関係を構築し、本学の学生の留学を、奨学金を準備して支援しています。留学から帰国した学生の就職先は有名企業が多いこともお知らせしておきます。本学では、皆さんが世界で活躍できるグローバル人材に成長されることを願つて各種の制度を充実させています。ぜひ、留学や海外研修にチャレンジされることをお勧めします。

本学は、建学の精神に則つて21世紀の日本を背負う心豊かで、情操に富み、社

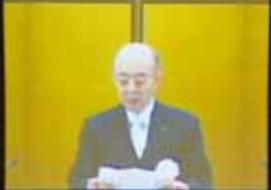
会性・倫理性に培われた人材を養成する高等教育機関です。多くの先輩、友人との出会いを大切に、学園祖のご遺訓である「努力の上に花が咲く」を心に刻み、中村学園の新たな歴史と伝統を継承する一員になったことを自覚してください。

本日の喜びと学問への情熱を長く胸に秘めて、本学の学生であることに誇りを持つて、勉学と人格の陶冶に勤しまれることを希望します。本日は、皆さんの大きな夢と希望を実現する第一歩を踏み出す非常に大切な日です。力強く歩み出してください。ご入学おめでとうございませう。



平成25年度

学位記授与式



タイの日本人学校で、小学校の教師になります！



下平 佳奈さん(人間発達学部)
 父が中国の日本人学校の教師をしていたのですが、その影響もあってずっと、心の中で外国の日本人学校で教師になる夢を持ち続けていました。中村に入学したのもこの大学なら夢にチャレンジできると思ったからです。実践的な授業も多く、仲間と高め合う環境も素晴しかったです。そしてこの度、努力の甲斐あって、タイの首都バンコクの日本人学校に就職することができました。現在は不安と期待が入り交じった感じですが、この大学で学んだことを糧として、良き教育者になりたいと思います。

大学 栄養科学部



先生方の厳しくも優しいご指導のおかげで、4年間、内容の濃い学びができました。卒業後は管理栄養士として給食センターで働きます。多くの人々の健康増進に役立つ栄養指導ができる管理栄養士として活躍したいです。(石崎さん 左)

学業中心の学生生活でした。勉強が大変だと思う時もありましたが、仲間のサポートもあり、乗り切ることができました。卒業後は食品会社に就職し、商品開発の仕事に携わります。中村で学んだ知識を存分に発揮したいと思います。(米田さん)

謝恩会会場 西鉄グランドホテル



大学 人間発達学部 ※2011年4月より「教育学部」に改組



いい仲間、いい先生方に恵まれて、楽しいキャンパスライフを過ごせました。卒業後は福岡市内の小学校の先生になります。いつも笑顔いっぱい、子どもたちから親しまれる先生になれるよう、情熱を持って頑張りたいです。(濱田さん 左)

児童文化部に所属し、仲間たちとさまざまな活動をしたことが一番の思い出です。サークル活動と学業の両立ができた4年間でした。卒業後は、地元の大分に戻り、子どもの頃からの夢だった幼稚園教諭になります。(庄司さん)

謝恩会会場 ホテルニューオータニ博多



大学 流通科学部



卒業後は福岡県警に就職し、警察官になります。流通科学部には、社会人の先輩として尊敬できる先生がたくさんいらっしゃいました。私も先生方を見習って立派な社会人になり、地域に貢献できる人材として活躍したいです。(池部さん 左)

卓球同好会の部長を務めたことや、会計簿記のゼミで仲間と頑張ったことなど、思い出は尽きません。卒業後はタイヤメーカーの営業職として働くことになりましたが、習得した知識を仕事に活かして頑張ります。(安藤さん)

謝恩会会場 タカラホテル福岡



平成26年3月14日、学位記授与式が本学体育館にて行われました。卒業生は輝くばかりの笑顔で、互いに記念撮影をしたり、後輩から花束をもらったり。旅立ちの日を迎えた皆さんに、学生生活の思い出やこれからの抱負を語ってもらいました。

短期大学部 食物栄養学科



調理実習が多く、調理が好きになるカリキュラムでした。親身になって指導してくださった先生方には、心から感謝しています。卒業後は給食会社で働くことになりましたが、責任感を持ってこれからも努力していきたいです。(伊豫さん 左)

学生寮で生活し、いろんな学部学科の学生と親しくなれたのが良かったです。学科での授業も含め、この2年間で、みんなで力を合わせて物事を成し遂げる大切さを学びました。入学前と比べて成長した自分がいます。(中谷さん)

謝恩会会場 西鉄グランドホテル



短期大学部 キャリア開発学科



2年間で秘書技能検定、日商簿記検定、日商PC検定など、多くの資格を取得することができました。努力した甲斐あって、希望していた旅行会社に就職も決まりました。社会人になっても勉強を続けていきたいです。(辻さん 左)

キャリア開発学科のカリキュラムはバラエティに富んでいて、楽しく学ぶことができました。充実した学生生活を過ごせたのは、学生一人ひとりに丁寧に指導してくださる先生、そして一緒に努力できる仲間たちがいたからです。(石川さん)

謝恩会会場 ソラリア西鉄ホテル



短期大学部 幼児保育学科



入学をきっかけに一人暮らしを経験できたことは貴重だったと思います。両親のありがたみを改めて実感する機会にもなりました。卒業後は、地元の熊本で幼稚園教諭になります。これからも全力で頑張ります。(豊住さん 左)

「子どもが好き」という同じ思いを持った仲間と楽しい日々を過ごしたので、卒業するのがちょっと寂しいです。卒業後は念願だった幼稚園教諭として頑張ります。子どもたちに負けないぐらい元気な先生になりたいです。(吉田さん)

謝恩会会場 ホテル日航福岡



対談

福岡市城南区 川崎 日出雄 区長
中村学園大学・中村学園大学短期大学部 甲斐 諭 学長

深まる地域と

大学の関係



福岡市城南区／川崎 日出雄区長(左)と
中村学園大学・中村学園大学短期大学部／甲斐 諭学長(右)

※肩書き等は対談日(平成26年2月24日)現在のもの

建学の精神を具現化するためには
地域との交流が必要

はじめに、お互いの存在についてお話しください。

川崎区長 中村学園は今年で60周年を迎えられます。私ごとですが、これは、私の人生と同じ道のように、多くの優秀な人材を輩出されてきました。地域イベントにも積極的に、毎年開催している「ふれあい城南フェスティバル」にも中村大の多くの学生が参加されていますし、博多どんたく城南区演舞台には和太鼓部とフラダンスサークルにも参加していただきました。まさに、中村大は地域になくてはならない存在です。

甲斐学長 本学の建学の精神の一つに「理論と実際の統合を図り、学問と生活の融合を重んじ教育と研究に努める」とあるのですが、理論はキャンパス内でも可能ですが、実際は学内にいるだけでは理解を深めることはできません。建学の精神を具現化するためには、キャンパス外での活動が必要です。その点において、城南区のご協力を得て地域と積極的に交流を深めているこ

中村学園大学・中村学園大学短期大学部(以下中村大)は、連携事業の発展に向けて組織的に取り組み、地域コミュニティの中核的存在として機能強化を図るため、平成26年2月6日、福岡市城南区と連携協定を締結しました。今回はその連携協定を記念して、川崎日出雄区長と甲斐諭学長との対談をお届けします。

とは大いに意義があることだと思っています。

川崎区長 城南区の人口は約13万人で、その内大学生は約2万5千人と、約2割にあたります。一方で福岡市にある7区の中で城南区は一番高齢化率が高いという現実があります。ますます高齢化が進む中、若者が地域に及ぼす影響は大きいと思います。



甲斐学長 高齢化のお話が区長からありましたが、本学には地域住民の健康増進に寄与することを目的の一つとした「健康増進センター」もあります。今後ますます高齢者の栄養の改善にも寄与できればと思っております。

「社会人基礎力」を身につけさせる

ためにも意義がある連携協定の締結

あらためて、この度、連携協定を結ばれた意義をお聞かせください。

福岡市城南区と中村学園大学・ 中村学園大学短期大学部が 連携協定を締結

(平成26年2月6日・本学)

連携協定締結の目的

相互の包括的な連携のもと、文化、教育、健康増進、流通科学、学術等の分野で協力し、地域並びに大学の相互発展に寄与する。



連携内容

- 1 地域文化の振興に関すること
- 2 教育及び人材育成に関すること
- 3 生涯学習に関すること
- 4 地域づくり及び学生の地域活動に関すること
- 5 学術研究に関すること
- 6 食育・健康・福祉に関すること
- 7 環境保全に関すること
- 8 その他両機関で合意された事項

今後の具体的計画

- 1 大学と地域の相互理解や連帯感を深化するため、これまでの個別活動の実績を踏まえた組織的な連携体制の整備
- 2 学生が自己成長し地域にもメリットを生む事業の推進
- 3 地域が抱える課題の把握とその解決に向けた大学の特色を活かした取り組みの検討
- 4 生涯学習機会の提供
- 5 広報における協力連携体制の具体化



川崎区長 福岡市と大学の連携協定締結はありましたが、行政区と大学が連携協定を結ぶのは福岡市では初めての取り組みで画期的なことです。いま学長からお話しがあったように、確かにキャンパスだけではなく地域と触れ合うことで、学生が社会人として巣立つ



甲斐学長 先ほど申しました建学の精神の具現化、そしてもう一つ大切なことは、学生の「社会人基礎力」を向上させることです。大学で理論を学んでも、就職活動が上手いかない学生もいますし、就職しても馴染みずすぐに退職してしまう卒業生もいます。このよ

うな事態に陥らないように、学生には「社会人基礎力」を身につけてもらいたいと考えています。そのためにはもちろん、学外で活動し、多くの社会人の方と接することが必要です。城南区のご協力を得て、さらにアクティブラーニングに磨きをかけたい考えです。未来に向け、この協定は学生のために、そして本学のために大変意義があることだと思います。

中村大は区の財産、資源。

学生の活動で明るく、元気があがる街になる

今後に期待することはどんな点でしょうか。

川崎区長 今回の連携協定の締結で、さらに双方が発展していくことを期待します。これを機に、城南区と中村大とで協議し、お互いに知恵を出し合って努力して

いけたらいいと考えていますし、将来的には地域の方々も参加し、生の声を聞きながら連携を強化できればと思います。

甲斐学長 学力もあり、なおかつ人間力もある人材を社会は求めています。城南区、そして区民の方々には、学生を地域で鍛えていただきたいと思っています。

川崎区長 中村大は区の財産、資源です。学長のお話のように学生がどんどん地域づくりに参画することで、高齢化が進む地域は若者のパワーで、もつと明るく、元気があがる街になると思います。

甲斐学長 若い時の苦労は買ってでもしろと言いますが、学生が地域貢献することで社会を見る目が養われ、それが地域のためになるのであれば、これは大変有意義なことです。頑張りますので、これからもよろしくお願いたします。川崎区長、本日はお忙しい中ありがとうございました。

川崎区長 こちこそありますがありがとうございました。中村大と城南区役所は近い距離にあります。これからもフェイストゥフェイスで話し合い、より良い方向に進むように努力していきましょう。

中村学園は

おかげさまで

60周年を迎えます。

平成26年、学校法人中村学園は創立60周年を迎えます。学園祖中村ハル先生の教育の理念・理想を受け継ぎ、関係者の皆さまへの感謝を示すとともに、「建学の精神」に基づく教育の実現に向け、これからの時代にあったあるべき姿を目指し、新たなスタートを切るために「感謝」「感動」「努力」の3つをキーワードに、学園創立60周年記念事業を実施いたします。

努力の上に花が咲くおかげさまで60年
Back-to-Basics & Challenges!



ロゴマークの2つのリングは、中村学園そのものと中村学園に関わる全ての人々を意味しており、結びつくことで更なる高みを目指しているという思いが込められています。

60周年記念事業等概要

■ 創立60周年記念式典・祝賀会

学校法人中村学園が創立60周年を迎えるにあたり、関係者の皆さまに対して、これまでの支援に感謝の意を表すとともに、先人が築いてきた功績に思いを馳せ、歴史と伝統を誇りに本学園の更なる飛躍の契機とするため、学園創立60周年記念式典並びに祝賀会を開催します。

■ 中村学園大学・中村学園大学短期大学部 新実験実習棟建設他

大学・短期大学部の建学の精神「教育研究の基本理論と実際の統合を図り、学問と生活の融合を重んじ教育と研究に努める」の充実、向上を図ることを目的として、実験実習棟を建設します。現在、調理実習室並びに実験実習室関係は中央本館・中央南館（昭和42年竣工）に位置し、築45年が経過、建物本体、設備ともに老朽化が著しいため、これらの建物にある諸室を集約し、施設設備の機能・充実を図り、教育研究効果をより向上させます。竣工は、平成27年2月中旬を予定しています。また、学園内の学園祖中村ハル先生ゆかりの碑などを整備します。

■ 60年史制作

中村学園の歴史を記す史書として編纂、発行し、本学園の歴史を共有するとともに、学園祖中村ハル先生の教育理念・理想を後世に引き継ぐために60年史（平成26年11月発行予定）を制作し、併せて60周年DVDを制作します。

■ 地域・社会貢献・記念事業

◎ 中村学園に学ぶ親子三代表彰

■ 中村学園ブランディング調査

平成26年4月、中村学園のブランドイメージの推移と評価を把握するための調査を実施。今後の課題を探り、中村学園の今後の方向性やビジョン、ブランディング戦略の検討材料とします。

◎ 中村学園60周年記念特設サイト開設



【新実験実習棟の概要】
●構造・規模/鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 8階建免震構造、床面積/8,730㎡

日時…平成26年11月7日(金)
記念式典 16時〜、記念祝賀会 17時30分〜
場所…ホテルニューオータニ博多

60周年を迎えて



学園祖 中村ハル先生の胸像前にて

学校法人中村学園

理事長 **中村 量一**

確かな教養。豊かな人間性。

双方を兼ね備えた人材の育成を。

学校法人中村学園は、昭和29年4月に学園祖中村ハル先生によって栄養士養成校である福岡高等栄養学校が開校されたことを嚆矢とし、今年お蔭さまで60周年の大きな節目を迎えます。そして、くしくも今年にはハル先生誕生130年にもあたります。この間、卒業生を始め、保護者、旧職員その他ご縁のある多くの方々から陰に日なたに中村学園に対しご支援ご鞭撻を賜りました。衷心から感謝申し上げます。

その後、栄養士は専門知識だけでなく、一般教養を身につける必要があるとの理由から発展的に短期大学を開学、今日では大学・高校・中学・幼稚園に加え収益事業部門として事業部を運営する総合学園として発展してまいりました。

「努力の上に花が咲く。おかげさまで60年」のキャッチコピーの下、「親子・孫・曾孫、何代にもわたって学びたい学園」を標榜してきた学園として、「中村学園に学ぶ親子三代表彰」を始め多くの記念事業を実施いたします。

これからも教職員一同団結して学生、生徒、園児のため、事業部においてはお客様のため、全力を尽くしたいと思っております。変わらぬご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

中村学園は親子代々学びたい学園づくりを目指し、その象徴となる三代(親子孫)に亘って本学園で学ばれた方を表彰いたします。

三代(親子孫)募集中 平成26年8月まで

中学校、高等学校、短期大学部、大学、福岡高等栄養学校において、親子孫三代で学ばれた方を募集しています。

表彰は、平成26年11月7日(金)に開催する創立60周年記念式典・祝賀会にて実施します。

■記念事業 —短期大学部キャリア開発学科—

「インターンシップ・グランプリ2014 幸福になる働き方〜仕事・女性・地域〜」

講演会のほか、インターンシップ(企業実習)の現状がわかる報告が行われます。学生によるプレゼンも必見、参加ご希望の方は、ぜひお申し込みください。

日時：平成26年5月17日(土) 13時～

場所：大講義室(西1号館10階)

◆第1部 記念講演 13時～14時

「女性大活躍が当たり前の社会へ！」

講師：納富昌子(RKB毎日放送メディア事業局専門局長)

◆第2部 第9回インターンシップグランプリ

14時35分～16時30分

春季インターンシップ生による企業実習報告のプレゼンテーションコンテスト。予選を勝ち抜いた学生10名がプレゼンし、審査によってグランプリ・準グランプリが決定します。

■「学校法人中村学園卒業生子女奨学金規程」制定

平成26年4月1日、「学校法人中村学園卒業生子女奨学金規程」が制定されました。この規程は、学校法人中村学園の各学校の卒業生またはその子女からの申請に応じ、二世代以上連続して各学校を卒業した方の子女で、各学校に入学する学生、生徒を対象に年2回、奨学金を支給するものです。

お申し込み・お問い合わせ先 [学部・大学院事務局]

TEL 092-851-5826(直通)

Eメール uggs@nakamura-u.ac.jp



※インターンシップグランプリ2013の様様

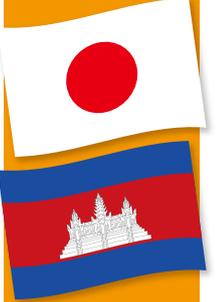
このほかにも、本年度は60周年を機にさまざまな取り組みを実施していく予定です。新たな事業が決定次第、本誌で紹介いたします。

平成26年3月より、本学ホームページに「中村学園60周年記念特設サイト」を開設。学園創立60周年と学園祖中村ハル先生の生誕130周年の歴史に感謝する記念ページを製作し、情報発信を行っています。

<http://www.nakamura-u.ac.jp/60th/>

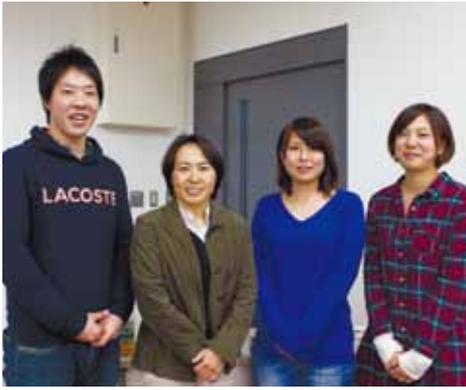


カンボジアの子どもたちにも 学校体育の素晴らしさを届けるプロジェクト



教育学部の中島ゼミでは、福岡・山口の近郊大学と連携し、カンボジアにおいて体育の普及、子どもたちにスポーツの楽しさを伝えることを目的に、現地の小・中・高等学校にて運動会を開催する国際教育支援活動プロジェクトに取り組んでいます。昨年度に引き続き、第2回目の運動会が平成25年11月23日から12月1日の間で現地にて行われ、そのプロジェクト報告会が平成26年1月23日、本学において開催されました。

報告会では、プロジェクト副団長の百武奈々子さん（人間発達学部4年生）の司会のもと、中島憲子准教授からカンボジアにおける体育の実情、プロジェクト活動の様子や実際の取り組みについて「なぜ、カンボジアで運動会なのか」を軸とした報告が行われました。



報告を行った、左から豊見山 拓馬さん、中島 憲子准教授、百武 奈々子さん、村上 紗也佳さん ※肩書き等は開催日現在のもの



カンボジアでは保健体育が必須科目であるものの、施設やノウハウも十分ではなく、実際には体育の授業を行っていない学校がほとんどである

現状や、運動会を開催することの意義が説明され、「手応えを得たと同時に、運動会を通じてカンボジアの生活に根ざした体育のあり方、可能性を探る必要があることを痛感した」と述べられました。また、教育者を目指す学生が、こうした途上国への教育支援ボランティア活動を行うことに対して、「他からの強制や義務付けられた活動ではなく、あくまでも学生の自由意思による内発的に動機づけられた参加であるからこそ、ボランティア活動が持つ『教育力』は、真の意味でのボランティア活動として位置づけられ、教育者としての芯、そして人間としての観を見つめ直すことができる」と報告されました。

続いて、豊見山拓馬さんと村上紗也佳さん（ともに教育学部3年生）から報告があり、「発展途上国であるカンボジアに実際に足を運び『貧困とは何か、支

援とは何か、ボランティアとは何か』ということを五感で感じながら、目の前の子どもを笑顔にすることの素晴らしさを学びました」という発言から、プロジェクトに参加したメンバー一人ひとりがかけがえのない経験をし、理想とする教育者になるためにひと回り成長したことが伺えました。

教育支援ボランティアはその国の人々の生活に還っていくものでなくてはならず、そのためには地道な活動を継続することが必要です。中島ゼミを中心に、カンボジアとカンボジアの子どもたちのため、そして心豊かな教育者育成のために、引き続きこのプロジェクトを継続していくことになっていきます。



運動会の準備をする学生たち



5、6年生の綱引き



プレゼントをもらって笑顔の子どもたち



小学校入口の横断幕設置後にパチリ



高校2、3年生の騎馬戦（帽子奪い）



学生に集まる子どもたち

優しくて温かい、頼りがいのある先生です!



自分の体験をもとに「こころ」を学び 生徒の気持ちが分かる教育者に。

保育士や教員を目指す学生が集まる針塚ゼミ。

自分たちの心の動きにも目を向けながら、
相手を理解する教育の心を育てています。

Welcome to Our Seminar

わがゼミ案内

教育学部
児童幼児教育学科 針塚ゼミ (4年生11名)

(針塚先生の口癖)
かっかっかっ(笑)
※独特の笑い方

教授
針塚
進
先生



大切なのは一人ひとりの実体験

発達臨床心理学の分野を40年以上も研究している針塚先生。障がいを持つ子どもへの援助を研究しているベテランの教授です。そんな針塚先生のゼミの方針は「自分の体験したことや印象深い出来事をもとにして論文のテーマを決める」ことです。その理由を尋ねると、「本を読んだだけでは借り物の知識だから、途中で分からなくなってしまう。学生たちが実際に感じたこと、経験したことを大切にしています」と針塚先生。

将来、教育の現場で働くことを目指すゼミ生たちは、関心のあるキーワードを軸に論文を見つけて発表し、それについてみんなでディスカッションをします。

授業が始まる前の和やかなムードに比べ、授業中は真剣な雰囲気。なぜなら先生から「〇〇さんはどう思う?」「これはどういう意味ですか?」と質問が飛んでくるので気が抜けないのです。学生たちは「質問を受けることで自分の知識が曖昧だった部分に気付く」と言います。

実際の教育現場を想定したロールプレイ(心理劇)の時間もありません。例えば、自分が受け持つ生徒に発達障がいの可能性がある場合、そのことを保護者へ伝えるのはとても難しくためらうことが多いそうです。その場面で学生が先生役と保護者役になって演じることで、「こんな言われ方をされたら嫌だ」という心も学ぶことができます。

生徒の立場になって理解する

針塚先生曰く「心理学は教育のベースになるもの。生徒の気持ちと特徴を理解しないと、算数や国語の知識も伝わらない。子どもの視点に立って気持ちを理解し、同時に自分がどう感じているのかを理解できる教育者になって欲しい」とのこと。

このゼミを選んだ理由を学生たちに訊くと「先生の優しくて温もりのある人柄」と答えてくれました。学会などで遠方に行った時にはお土産を二人ひとりに買ってきてくれたり、クリスマス会ではサンタクロースの格好をしたりと、学生想いで親しみやすい存在のようです。

今後の教育方針を先生に尋ねると、「今年度は昨年度以上にずっと積極的に学生との対話を深めたいと考えています。研究や勉強以外でも学生が『先生、もう十分です』と思うくらい深く関わりたいですね(笑)。そして学生も私の懐に飛び込んできて欲しいです」と目を細めていました。

Profile

九州大学大学院博士課程修了後、山形大学で9年間教鞭をとり、1987年九州大学教育学部助教授、九州大学大学院人間環境学研究院教授を経て、2013年より現職。専門分野は臨床心理学、教育心理学。趣味はジョギングで数年前にはフルマラソンを完走した経験もある。



活躍する卒業生

Graduate of Nakamura



入試課職員 川田 育実

平成15年度 中村学園大学 流通科学部 卒業
現 学部・大学院事務室に3年、就職課に6年勤務し、入試課配属2年目。

大好きな母校で後輩たちが
未来を創る手助けをしたい

私は流通科学部の二期生として中村学園大学に入学しました。当時まだ珍しかったインターンシップを取り入れた、実学に沿ったカリキュラムに魅力を感じました。インターンシップでは、大学の講義で学んだことが実社会とどのように繋がっているのかを実感し、また社会人としてのマナーや仕事に対しての心構えなどを現場で身につけることができたので、その後の大学生活をより有意義に過ごすことができましたと感じています。

また、就職活動を始めた当初は「社会人になりたい」という漠然とした気持ちでしたが、幅広く会社や仕事内容を知りたいと思い、さまざまな企業の説明会に積極的に参加しました。ゼミの先生や就職課の方から定期的に情報をいただき、就職活動状況の確認やアドバイス、求人

情報などもリアルタイムに伝えてもらいました。そんな面倒見の良いところもこの大学が好きな理由の一つです。

本学の職員となり、今年で11年目になりました。6年間勤務した就職課では、企業の人事担当者の方へのPR、学生への求人紹介や進路選択の相談のほか、就職活動がスムーズになるための説明会を企画運営する業務を行いました。学生から内定の報告を聞いたり、企業等の人事担当者の方から卒業生の頑張っている様子を聞く時が最もやり甲斐を感じる瞬間でした。

現在は、入試課で主に高校生へ向けた本学の情報発信をしています。大学進学だけでなく、その先の将来、そして人生設計まで含めた進路選択のお手伝いができるよう、学生時代に私に手を差し伸べてもらったように、学生の将来を一緒に創っていける職員になりたいと考えています。

活躍する卒業生

Graduate of Nakamura



入試課職員 白濱 裕介

平成19年度 中村学園大学 流通科学部 卒業
教務課に5年半勤務し、昨年より入試課に配属。

職員という立場から見えてきた
母校の魅力を伝えたい

学生時代は、マーケティング分野・ロジスティクス分野の基礎的知識・実践的能力を学びました。就職活動中は企業で働くことも考えていましたが、当時の就職課の方に求人を紹介していただいたことがきっかけで、本学で働くことを決めました。

最初の5年半は教務課で、カリキュラムの編成と運営に携りました。教務課で本学の教育理念と教育課程をしっかりと学ぶことができたのは、その後の業務に大いに活かすことのできる経験だったと感じています。昨年10月に入試課へ異動

となり、現在は、九州各地の高校生へ本学の情報発信をしています。本学に関心を持ってくれる高校生に出会う度に、もつこの大学の魅力を伝えたいという気持ちになります。

本学で働き始めて6年以上が経ちますが、職員という立場になって見えてきた本学の良さがたくさんあります。「実践的な授業内容が多く、学生一人ひとりを大切にしている」ということはもちろんですが、最大の魅力は「学生」にあると私は感じます。本学には、コミュニケーション能力が高く、主体性があり、人間的に魅力のある学生が多く在籍しています。これからも、その学生たちの力になれるよう、職務に励んでいきたいと考えています。

就職活動に関して在學生に伝えたいことは、待っているだけでは情報は集まらないということ。求人・企業情報等は、自ら集めるように心掛けてください。

仕事の向き・不向きを気にするよりも常に「前向き」に取り組んで欲しいと思います。

付属幼稚園 だより



友だちの大切さ

あさひ幼稚園 教諭 丸山 由美

3月、あさひ幼稚園をさまざまな場面で支えてきた年長児が卒園しました。寂しそうな表情を浮かべながら年長児を見送った年少・年中児は、少し静かになった幼稚園で進級までの残りの時間を友だちや保育者と過ごしています。

そんなある日のこと、保育室で遊んでいた年少クラスの女兒2人が、「あと3かいで、うめぐみはおわりだね。」「さびしいね。」と少し悲しげな表情で保育室に貼ってあるカレンダーを見ながら話していました。

年少児にとっては、初めての幼稚園生活で、最初は保護者と離れることができません、泣いてしがみついていたこともありました。それが、徐々に園の雰囲気慣れ始め、好きな遊びが見つかり、生き生きとした表情で登園してくるようになりました。そして、同じクラスの友だちと遊ぶ楽しさを実感するようになり、友だち関係が築かれていきました。

友だちとかかわることは、常に楽しいことばかりだとは限りません。道具の取り合いになったり、友だちと思いがすれ違い、けんかしてしまったりすることもあります。その度に、保育者と共に自分の気持ちを伝えたり、友だちの思いを知ったりと、友だちとのやりとりを経験してきました。その経験があったからこそ、友だちとの絆が深まっていくのだと思います。

「幼稚園に行くと友だちと遊びたい」「友だちがいるから頑張れる」…友だちという存在は、子どもたちが成長していくうえでなくてはならないものだと思います。人間関係がだんだん希薄になってきている現在、“生きる力”を育むために、友だちとたくさん遊んで、たくさん話して、思う存分かわる楽しさを感じることができるよう、子どもたちを見守っていきたいと思います。



腕を踏切に見立てて、友だちと一緒に電車ごっこを楽しんでいる年少児

平成26年度 入試結果

※競争率は、受験者数/合格者数
(小数点第3位以下を四捨五入)

●中村学園大学大学院

研究科・専攻	課程	種別	募集人員	志願者	受験者	合格者	競争率
栄養科学研究科 栄養科学専攻	博士前期	推薦	6	3	3	3	1.00
		一般(1次)		5	5	4	1.25
		一般(2次)		2	2	2	1.00
	博士後期	外国人留学生	0	0	0	—	
		一般(1次)	3	0	0	0	—
		一般(2次)	0	0	0	—	
人間発達学研究科 人間発達学専攻	修士	推薦	5	1	1	1	1.00
		一般(1次)		0	0	0	—
		一般(2次)		0	0	0	—
		社会人(1次)		1	1	1	1.00
		社会人(2次)		2	2	2	1.00
流通科学研究科 流通科学専攻	修士	推薦	10	6	6	5	1.20
		一般(1次)		4	4	4	1.00
		一般(2次)		1	1	1	1.00
		社会人(1次)		1	1	0	—
		社会人(2次)		2	2	2	1.00
		外国人留学生(1次)		0	0	0	—
		外国人留学生(2次)		1	1	1	1.00

●中村学園大学

学部・学科	区分	募集人員	志願者	受験者	合格者	競争率	
栄養科学部 栄養科学科	推薦	公募制	50	136	136	55	2.47
		指定校	20	30	30	30	1.00
		併設校	20以内	18	18	18	1.00
	一般	一般(前期)	90	458	454	176	2.58
		一般(後期)	5	36	36	5	7.20
		大学入試センター試験利用(前期)	12	217	217	51	4.25
		大学入試センター試験利用(後期)	3	10	10	3	3.33
		外国人留学生	若干名	1	1	0	—
		帰国子女	若干名	0	0	0	—
		教育学部 児童幼児教育学科	推薦	公募制	80	153	153
併設校	15以内			15	15	14	1.07
一般(前期)	100			738	738	296	2.49
一般	一般(後期)		5	107	107	5	21.40
	大学入試センター試験利用(前期)		15	359	359	133	2.70
	大学入試センター試験利用(後期)		5	43	43	5	8.60
	外国人留学生		若干名	0	—	—	—
	帰国子女		若干名	0	0	0	—
流通科学部 流通科学科	推薦	公募制	20	29	29	26	1.12
		指定校	55	89	89	89	1.00
		併設校	35以内	26	26	26	1.00
	一般	一般(前期)	85	732	729	349	2.09
		一般(後期)	5	63	63	22	2.86
		大学入試センター試験利用(前期)	7	190	190	59	3.22
		大学入試センター試験利用(後期)	3	21	21	8	2.63
		外国人留学生	10名以内	16	16	10	1.60
帰国子女	若干名	0	0	0	—		

●中村学園大学短期大学部

学科	区分	募集人員	志願者	受験者	合格者	競争率	
食物栄養学科	推薦	公募制	37	72	72	55	1.31
		指定校	63	63	63	63	1.00
		併設校	10以内	6	6	5	1.20
	一般	一般	35	157	155	65	2.38
		社会人	5以内	4	4	1	4.00
		外国人留学生	若干名	0	0	0	—
キャリア開発学科	推薦	公募制	10	22	22	18	1.22
		指定校	110	123	123	122	1.01
		併設校	15以内	14	14	14	1.00
		自己推薦	5	6	6	5	1.20
	一般	一般	10	52	52	29	1.79
		外国人留学生	若干名	0	0	0	—
幼児保育学科	推薦	公募制	75	123	123	97	1.27
		指定校	60	69	69	69	1.00
		併設校	15以内	13	13	13	1.00
	一般	一般	40	154	154	68	2.26
		社会人	若干名	0	—	—	—
		外国人留学生	若干名	0	0	0	—

平成25年度海外研修

■流通科学部 ーカナダー

平成26年2月9日～2月24日（16日間）

流通科学部の学生12名がカナダのバンクーバーで海外研修を行いました。出国時は、関東地域の積雪の影響により一部行程の変更が余儀なくされましたが、バンクーバーに到着後はホームステイをしながら、公立大学のランガラ・カレッジでビジネス英語研修を受けました。



研修では、ランガラ・カレッジの学生との交流会をはじめ、コンベンションセンターや現地小売店、バンクーバー博物館等の見学も行われ、学生たちは英語圏に身を置いたことで語学向上の意識が芽生えたようです。

■短期大学部キャリア開発学科 ーカナダ・アメリカー

平成26年2月22日～3月7日（14日間）

短期大学部キャリア開発学科の学生19名は、カナダのバンクーバー、アメリカのロサンゼルスで海外研修を行いました。バンクーバーでは10日間のホームステイをしながら、語学学校のILSC (International Language School of Canada) で英語を学びました。

カナダは多民族・多文化の国で、各家庭で生活習慣が異なります。研修に参加した学生は、食事や住居、入浴や就寝など、日本での環境との違いを感じたようです。

ILSCは東南アジア、ヨーロッパ、アフリカと、さまざまな国や地域から学生が集まっており、基本的



■短期大学部食物栄養学科 ーイギリスー

平成26年3月1日～3月16日（16日間）

な学習はもちろん、お互いの母国の文化や習慣を紹介したりなど、ジェスチャーを交えながらコミュニケーションをとりました。日本とは異なる文化に触れることができ、世界の広さを感じる機会となりました。

短期大学部食物栄養学科の1年生19名は、ホームステイをしながら、イギリスのカンタベリーでの栄養学・英語研修に参加しました。栄養学に関する研修では、病院、高齢者の施設、学校の施設見学、講義を通して、日本とは異なる栄養管理を学び、イギリスと日本との栄養に対する考えの違いなどを実感し、栄養学についてより深く考える機会になったようです。

また、コンコルド・インターナショナルでの英語研修では、少人数クラスに分かれて英語学習を行いました。フランス、イタリア、中国、アンゴラなどさまざまな国の学生とのコミュニケーションを通して、教室内では英語しか話してはいけないという決まりのもと、戸惑いながらも、とても楽しい時間を過ごしたようです。このほか、ロンドンやリーズ城の観光も行われ、イギリスの歴史やにぎやかな雰囲気を感じ、参加した学生にとって国際的な視野を養う良い経験となりました。



若い力が食や農業を変える!! ーたべものと命を考えるシンポジウムー

平成26年2月26日、エルガー



甲斐 諭学長



古賀 友里恵さん



江崎 翠さん

取り組む木村幹子氏による基調講演や学生らによるパネルディスカッションが行われました。

パネルディスカッションでは、平成25年5月から11月にかけて行われた「大学生アグリスクール」での農業体験活動や直売所とタッグを組んでメニュー開発する「大学生対抗グルメ選手権」、大学生記者としての農業現場取材を体験した5名の学生が発表しました。

本学からは、大学生アグリスクールに参加した江崎翠さん（本学短期大学部食物栄養学科2年生）が農業体験を通して学んだことを発表し、「アグリスクールの活動を通して、地産地消について考えを深める機会になり、地元旬の野菜に触れることで生産者の思いや食べ物の大切さに気付きました。この活動体験を多くの人に発信していきたいです」と意気込みを語りました。



※肩書き等は開催日現在のもの

筑前町「食の都びくり」2013 公開講座

本学と筑前町は、包括連携協定を締結しており、食を核とした地域活性化事業に取り組んでいます。この講座は連携事業の一環として、平成23年度から筑前町民を対象に実施しており、平成25年度は左記の内容で行われました。

■第1回 平成25年11月29日 (筑前町コスモスプラザ)

甲斐論学長による講座「食の流通と安全—TPPの影響と対策—」が行われました。食のグローバル化による農業の現実やTPPによる関税撤廃の経済効果と影響、日本の農業における今後の課題や農商工連携による地域活性化の重要性についての説明がありました。



■第2回 平成26年1月25日 (本学・栄養・調理学実習室)

栄養科学部の三堂徳孝准教授によるデザート講習会「筑前町産大豆をスイーツでおいしくpart1」が行われました。筑前町の特産品である筑前クロダマルを使った筑前クロダマルのポルポローネ、ミルクレープ、黄粉のスフレ、大根もちの4種のスイーツの提案と、試食会が行われました。



■第3回 平成26年2月18日 (筑前町コスモスプラザ)

流通科学部の音成陽子准教授による運動講座「楽ちん体操 トレーニング講座」が行われました。講座では椅子の座り立ちや握力をチェックし、いつでも簡単に実践できるストレッチ法やトレーニング法などが紹介され、参加者は実際に身体を動かしながら学びました。



■第4回 平成26年2月28日 (筑前町めぐばーる生涯学習館)

栄養科学部の三堂徳孝准教授によるデザート講習会「筑前町産大豆をスイーツでおいしくpart2」が行われ、Part1に引き続き筑前クロダマルを使った筑前クロダマルの滑らかプリン、ポルポローネ、筑前産大豆とオレンジのミルフィーユの3種のスイーツが提案され、調理実習と試食会が行われました。

春のオープンキャンパス

平成26年3月15日、春のオープンキャンパスが開催されました。当日は505名の高校生や保護者の方々にご来場いただきました。オープンキャンパスでは、入試相談や学生生活相談をはじめ、栄養士系、幼児保育・児童教育系、企業系の分野における模擬授業や在学生との交流、クラブ・サークル紹介、入試説明会などイベントが盛りだくさんで、大好評でした。



なお、夏のオープンキャンパスは8月9日と8月23日に開催される予定です。

福岡ウォーキング&ジョギング2014

平成26年4月6日、福岡大学にて地下鉄七隈線沿線三大学（福岡大学・福岡歯科大学・中村学園大学）連絡協議会主催の「ここにこウォーキング&ジョギング2014」が行われました。この催しは、毎年4月上旬に世界各国で開催されている「World Day For Physical Activity」(健康づくりのための身体活動増進運動)に呼応して行うもので、今年で3回目の開催となります。



開会前には福岡大学第二記念会堂内に三大学のブースが設けられ、血圧測定や栄養相談、口臭測定が行われました。その後、参加者は福岡大学陸上競技場に移動し、田中宏暁先生（福岡大学スポーツ科学部教授）による指導のもと、健やかな身体づくりや疾病予防の一助となるウォーキング・ジョギングやトレーニングを実践しました。

当日は少し肌寒い気候でしたが、参加者からは「体がぼかぼかになって良い運動になった」「これからは、もっと歩く機会を増やそう」という声がかかれ、日頃の運動方法を見直す絶好の機会となりました。

児童文化部（パネルシアターくらぶPEC・ぺく） 学生ボランティア団体助成採択

本学の児童文化部（パネルシアターくらぶPEC・ぺく）が、一般財団法人学生サポートセンター「学生ボランティア団体」助成に採択されました。本学児童文化部の受賞は、一昨年を含め2回目となります。

この助成は、自由な発想と行動力によって社会貢献を計画・実行している学生団体を対象に、団体組織の活性化やネットワーク作りなどを経済的に支援し、社会貢献活動を応援することを目的としています。応募対象は、過去に2年以上の活動実績がある団体で、学生を主たる構成員とするボランティア団体です。

本学児童文化部（パネルシアターくらぶPEC・ぺく）では、現在14名の部員

サークルフェスタ2014



平成26年4月4日、新生オリエンテーションの最終日に、体育館のメインフロアでサークルフェスタが開催されました。

文化系、体育系の全サークルが集結し、在学生が新入生へ各サークルの紹介やサークルへの勧誘を行いました。学友自治会執行部の主催でスタンプリーパーも実施され、5つのサークルを回ってスタンプを集めた新入生には、プレゼント

が活動しています。具体的な活動としては、地域の子育てを応援するために幼稚園や保育園、子育てサークルや小学校などでパネルシアターや運動遊びなどの公演活動を行ったり、城南保健所共同プロジェクトで

新しいパネルシアターを制作し、「O-157の予防と食育キャンペーン」なども行っています。



平成26年1月30日、京都で行われた表彰式
部長の杉野彩さん（教育学部3年生・右）と、池真理子さん（教育学部2年生・左）
※肩書き等は開催日現在のもの

が渡されました。

ステージ中央では、和太鼓部、吹奏楽部、軽音楽部の演奏、NDA部のダンス、クリスタルハーモニーの合唱などが繰り広げられ、新入生だけでなく、在学生も大いに盛り上がりました。新入生はその熱気に圧倒されながらも、「大学生になった実感が湧いてきます」「どのサークルも楽しそうで迷います」など、高校とは異なる、大学ならではの雰囲気を楽しんでいました。



学生表彰

平成25年度 総合GPA優秀者表彰

「中村ハル育英奨学基金規程」による、平成25年度総合GPA優秀表彰者が左記のとおり決定しました。表彰者には学位記授与式当日、表彰状と純金製のメダルを配した盾が手渡されました。

- | | | |
|--------|----------|---------|
| 短期大学部 | 食物栄養学科 | 狩野えりか |
| | キャリア開発学科 | 森 あずさ |
| | 幼児保育学科 | 大石 美幸 |
| 栄養科学部 | 栄養科学科 | 平野 玲妃 |
| 人間発達学部 | 人間発達学科 | 児童発達学専攻 |
| | | 館山 敦美 |
| | | 河村 美沙 |

GPAとは、Grade Point Averageの略です。GPAは、学生が履修した科目の成績評価に応じて、秀「4点」、優「3点」、良「2点」、可「1点」、不可・不認定「0点」としています。総合GPAとは、学生が在学中に履修した科目それぞれのGPAに、その科目の単位数を乗じて得た値の合計を、全履修登録科目の合計単位数で除して得た値のことです。この数値で、1単位当たりどれだけ高い学習効果があったかが評価できます。

平成25年度卒業学生 表彰者

各養成課程を優れた成績で卒業する学生を各種団体が表彰しています。平成25年度は次のとおり決定しました。

- 全国栄養士養成施設協会会長表彰者
 - 短期大学部 食物栄養学科 国廣 千夏
 - 栄養科学部 栄養科学科 古賀友里恵

●全国保育士養成協議会会長表彰者

- 短期大学部 幼児保育学科 大石 美幸
- 人間発達学部 人間発達学科 幼児発達学専攻 江崎 美帆

●日本フードスペシャリスト協会会長表彰者

- 短期大学部 食物栄養学科 北古賀優紀
- 栄養科学部 栄養科学科 森脇 有季

発刊・発行のお知らせ

プロジェクト研究 研究成果報告書第3号発刊

中村学園大学・中村学園大学短期大学部「プロジェクト研究成果報告書第3号」が刊行されました。プロジェクト研究は、本学の研究の高度化・活性化・個性化を図るとともに、若手研究者の研究活動能力向上を図ることを目的として平成19年4月に発足しました。本報告書は平成22～23年度、平成23～24年度（原則2年間）の研究結果をとりまとめたものです。

報告書は本学図書館ホームページの「中村学園大学学術リポジトリ」に掲載されています。

(<https://nakamura-ureponi.ac.jp/>)



教員の表彰

社団法人全国栄養士養成施設協会会長顕彰



岩本 昌子 教授
平成25年11月、岩本昌子教授(栄養科学部)が、社団法人全国栄養士養成施設協会の会長顕彰を受賞しました。この表彰は、多年にわたり、栄養士・管理栄養士養成施設において教育に尽力され、多大な貢献をされた教員に対し贈られるものです。

教職員の動き

採用人事(平成26年4月1日付)



- 教授(短大・キャリア開発学) 渡邊 公章
- 准教授(大学・栄養科学部) 安武健一郎
- 准教授(大学・教育学部) 吹氣 弘高
- 准教授(大学・教育学部) 藤瀬 教也
- 准教授(大学・流通科学部) 近江 貴治
- 講師(短大・幼児保育学科) 永渕美香子
- 常勤助手(大学・栄養科学部) 入来 寛
- 常勤助手(大学・栄養科学部) 梶山 倫未
- 常勤助手(大学・栄養科学部) 秦 奈々子
- 常勤助手(大学・教育学部) 中村 恭子
- 常勤助手(短大・食物栄養学科) 古川 茉育
- 常勤助手(短大・食物栄養学科) 吉永 伊織

平成26年度役職者



- 常勤助手(短大・幼児保育学科) 四童子 裕
- 学事課課員 渡辺 圭祐
- 学部・大学院事務室室員 洪谷 早紀
- 情報処理センター事務室室員 肥山 昌弘
- 志岐幼稚園常勤講師 大畑 友美

- 学長(大学・短期大学部) 甲斐 諭
- 大学院栄養科学研究科長 中野 修治
- 大学院人間発達学研究科長 望田 研吾
- 大学院流通科学研究科長 山田 啓一
- 栄養科学部部長補佐 藤田 守
- 栄養科学部部長補佐 三成 由美
- 教育学部長 相良 康弘
- 教育学部部長補佐 笠原 正洋
- 流通科学部部長補佐 片山 富弘
- 流通科学部部長補佐 浅岡 由美
- 短期大学部長 小田 隆弘
- 食物栄養学科主任 阿部志磨子
- キャリア開発学科主任 梶田 鈴子
- 幼児保育学科主任 増田 隆
- 図書館長 島内 博行
- 薬膳科学研究所長 内山 文昭
- 発達支援センター長 針塚 進
- 流通科学研究所長 甲斐 諭
- 大学付属あさひ幼稚園園長 平田 繁
- 大学付属あさひ幼稚園主任教諭 志水 陽子
- 大学付属志岐幼稚園園長 宮坂 明
- 大学付属志岐幼稚園主任教諭 樋渡紗由里

昇任・昇格人事(平成26年4月1日付)

- 准教授(大学) 野上 俊一(大学 講師)
- 准教授(大学) 明神 実枝(大学 講師)
- 准教授(短大) 津田 晶子(短大 講師)
- 講師(短大) 松園 聡美(短大 助教)
- 助教(大学) 山本 亜衣(大学 助手)
- 助教(短大) 長光 博史(短大 助手)
- 助教(短大) 仁後 亮介(短大 助手)

常勤教員から専任教員への人事(平成26年4月1日付)

- 事務局長 坂口 浩隆(法本部総務部次長)
- 総務課課長 大川 貴光(入試課長補佐)
- 教務課課長 中村 絃石(法本部総務課員)
- 学部・大学院事務室室長 坂口 咲子
- (学部・大学院事務室室長補佐) 奥村 和弘(就職課長補佐)
- 就職課課長 塚元富一郎(情報処理センター事務室室長補佐)

退職人事(平成26年3月31日付)

- 教授(大学) 青峰 正裕
- 教授(大学) 昇地 勝人
- 教授(短大) 清水 誠
- 教授(短大) 那須 信樹
- 教授(短大) 久富さよ子
- 准教授(大学) 田村 知子
- 准教授(大学) 中野 隆二
- 准教授(大学) 柳澤さおり
- 助手(大学) 森田真紀子
- 常勤助手(大学) 濱田 綾子
- 常勤助手(短大) 高田 好視
- 常勤助手(短大) 平山 隼人
- 常勤助手(短大) 後根 明夫
- 管財課課長 石丸 浩正
- 情報処理センター事務室室長 豊田 順子
- 法人本部総務部課員 唐川 清宅
- セミナーハウス事務職員 唐川 玲子
- 志岐幼稚園主任教諭 淵上乃里子
- 管財課課長 浅見 充(就職課課長)
- 入試課主任推進役 芹田 英樹
- (学部・大学院事務室室長) 森 光世(学事課課員)
- 法人本部総務部課員 沖野 寛之(基礎教育センター教育職員)
- 女子中・高教諭

研究助成寄付金受入れ状況

(平成25年12月～平成26年3月受入分)

【研究者】	圓入 智仁 准教授(短期大学部幼児保育学科)
【研究課題名】	両大戦間期の少年団運動における道徳教育
【企業名等】	公益財団法人上廣倫理財団
【金額】	600,000円

教員の出版物

著者は、本学教員のみ記載、()内は出版社、発行年月



「管理栄養士養成課程
『栄養管理と生命科学シリーズ』
栄養教育と健康の科学」
岩本 昌子 栄養科学部・教授 編著
(理工図書 平成26年3月)



「地域活性化への試論
—地域ブランドの視点—」
片山 富弘 流通科学部・教授 編著
(五紘舎 平成26年1月)



「差異としてのマーケティング」
片山 富弘 流通科学部・教授 単著
(五紘舎 平成26年3月)



「地域デザイン叢書3
海と島のブランドデザイン」
山田 啓一 流通科学部・教授 共著
(芙蓉書房出版 平成25年12月)

WEBサイトをリニューアルしました!!

この度、中村学園大学・中村学園大学短期大学部のWEBサイトをリニューアルいたしました。今後もWEBサイトより入試情報、また研究活動、社会貢献などの情報を随時公開していきます。

またfacebookでも、最新情報を発信しておりますので、ぜひご覧ください。



<http://www.nakamura-u.ac.jp>

今すぐ
CHECK!!

中村学園大学/中村学園大学短期大学部
公式facebookページ

HPでは伝えきれないナマの“ナカムラ”を写真や動画でご紹介!!
興味がある記事にはぜひ「いいね!」をお願いします!

広報誌セロリの定期購読について

定期購読をご希望の場合は、購読料（2年分）として郵便小為替1,200円分と、郵便番号・住所・氏名・電話番号を書いた紙片を同封のうえ、学事課宛にお送りください。なお、広報誌の発行は、年4回（4・7・10・1月）となります。
※保護者の方には毎号送付しています。

【申し込み先】〒814-0198 福岡市城南区別府5-7-1 中村学園大学 学事課「広報誌定期購読申込」係